

# 東京コーディネーター研究会

<h3>団体の概要</h3> <p>本研究会は、特別支援教育に携わる学校関係者が集まり、平成16年に発足し、指導と連携の具体策を検討してきた。</p> <p>研修会では、グループでの意見交換の場を設定し、参加者との相互交流を大切にしている。</p>	<h3>研究テーマ</h3> <p>特別支援教育の視点での学級づくり・授業づくり</p> <h3>研究のねらい</h3> <p>通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒の具体的な指導の手だてや連携の方法を探る。</p>
<h3>研究の内容</h3> <p>○オンライン学習会（分科会別の実践交流 全6回）</p> <p>①特別支援教育コーディネーター分科会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コーディネーターの役割「つなぐ、結ぶ、わたす」</li><li>・校内委員会→年間計画に基づく定期開催と臨機応変な開催</li><li>・会議の見える化がポイント</li></ul> <p>②特別支援教室分科会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自己認知の力→自作チェックリスト等の活用</li><li>・自己肯定感→「できた」をつくる、保護者につなげる</li><li>・集中力を高める指導→実態把握、数値化等</li><li>・在籍学級の担任との連携→参観、課題のすり合わせ等</li><li>・特別支援教室制度の小・中完全実施</li></ul> <p>成果→意識や支援の広がり、実態把握や情報共有のしやすさ 課題→保護者との連携、学校や自治体による違いや差</p> <p>③通常の学級分科会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習のつまずき→活躍の場づくり、タブレットの活用等</li><li>・周困へ→学習の仕方の違いへの理解啓発、協力への感謝</li><li>・注意ではなく、望ましい行動に着目した言葉掛け</li></ul>	
<h3>研究の成果と課題</h3> <p>・経験の浅い先生方の悩みを基に、具体的な手だてや実践の紹介等、意見交流ができた。今後も、明日への活力を生む研究会を目指す。</p>	
<p>今後の活動予定</p> <p>第6回 オンライン学習会 令和4年1月21日(金) 18:30～20:00 (要申し込み、研究会HP参照)</p>	<p>代表者： 足立区立舎人第一小学校 校長 相原和子</p> <p>連絡先： 足立区立鹿浜五色桜小学校 主任教諭 青木美穂子 03(3898)1321</p>